

[評議員会 第1号議案]

2021(令和3)年度
収支予算書

2021年4月1日から
2022年3月31日まで

2021年3月16日

公益財団法人 助成財団センター

収支予算書(損益計算方式)案

2021(令和3)年 4月 1日から2022(令和4)年 3月31日まで

(単位:円)

	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	4,220,000	4,000,000	220,000	
基本財産受取利息	4,220,000	4,000,000	220,000	
特定基本財産運用益	1,480,000	1,800,000	△ 320,000	
特定基本財産受取利息	1,480,000	1,800,000	△ 320,000	
特定資産運用益	50,000	0	50,000	
特定資産受取利息	50,000	0	50,000	
受取会費	30,500,000	30,500,000	0	※1 前年度実績より会員純増+8口
正会員受取会費	30,500,000	30,500,000	0	
事業収益	7,000,000	9,520,000	△ 2,520,000	
支援事業収益	5,000,000	5,620,000	△ 620,000	
研修・相談事業収益	4,000,000	4,500,000	△ 500,000	※2 全9メニュー・交流会の開催、参加者増加、定員充足
ホームページサービス収益	900,000	1,000,000	△ 100,000	
その他支援事業収益	100,000	120,000	△ 20,000	(NPO支援財団研究会事務業務)
情報整備事業収益	400,000	400,000	0	
助成関連データ収益	400,000	400,000	0	※3 NII購入中止
情報提供事業収益	1,600,000	3,500,000	△ 1,900,000	
助成団体要覧収益	400,000	1,700,000	△ 1,300,000	※4 2020年版 販売減(180冊→40冊見込) 2022年版(隔年2月発刊)2022年度売上計上
助成金応募ガイド(研)収益	800,000	1,000,000	△ 200,000	※4 (430冊販売見込)
助成金応募ガイド(NPO)収益	400,000	800,000	△ 400,000	※4 (430冊販売見込)
受取補助金等	1,496,000	3,800,000	△ 2,304,000	※5 新情報システム・当期受取助成金 1,000千円 +減価償却費(前期取得分)496千円
受取補助金等振替額	1,496,000	3,800,000	△ 2,304,000	
受取寄付金等	8,824,000	4,700,000	4,124,000	※6 (当期受取寄付金2,540千円+前期受取寄付金7,460千円) - {当期分ソフトウェア取得1,470千円-減価償却費(当期取得分)294千円}
受取寄付金振替額	8,824,000	4,700,000	4,124,000	
雑収益	90,000	50,000	40,000	
雑収益	90,000	50,000	40,000	
経常収益計	53,660,000	54,370,000	▲ 710,000	
(2) 経常費用				
①事業費	44,920,000	44,700,000	220,000	
役員報酬	4,460,000	3,500,000	960,000	※7 公1担当委託料から切替
給料手当	14,005,000	13,700,000	305,000	※8 前年税理士事務所対応、職員採用
賞与引当金繰入額	600,000	1,050,000	△ 450,000	※8 職員1名減
臨時雇賃金	650,000	0	650,000	※9 新情報システム及び新研究会担当採用
退職給付費用	500,000	500,000	0	
福利厚生費	1,550,000	3,000,000	△ 1,450,000	※10 定期代の旅費交通費への振替
会議費	550,000	100,000	450,000	※11 新規プロジェクト研究会の調査費500千円計上、 WEB会議・書面決議へ変更
旅費交通費	1,450,000	1,000,000	450,000	※10 定期代の福利厚生費から切替
通信運搬費	3,800,000	2,900,000	900,000	※12 団体要覧2022年2月(隔年)発刊・配送費、チラシ送料
減価償却費	880,000	950,000	△ 70,000	
消耗品費	660,000	950,000	△ 290,000	※13 研修・会議室機器整理 終了
備品費	400,000	320,000	80,000	
印刷製本費	5,100,000	3,800,000	1,300,000	※14 団体要覧2022年2月(隔年)発刊費用
光熱水料費	400,000	400,000	0	
賃借料	5,000,000	5,000,000	0	
清掃費	215,000	170,000	45,000	
諸謝金	720,000	2,050,000	△ 1,330,000	※7 公1担当報酬へ振替
租税公課	400,000	390,000	10,000	
会場費	900,000	2,300,000	△ 1,400,000	※15 研修のWEB開催へ変更、懇親会の中止
交流関係費	100,000	100,000	0	
ホームページサービス委託費	600,000	620,000	△ 20,000	
資料収集整備費	100,000	100,000	0	
データ・システム管理費	1,430,000	1,500,000	△ 70,000	
広告宣伝費	100,000	100,000	0	
図書費	50,000	0	50,000	
雑費	300,000	200,000	100,000	
②管理費	14,210,000	15,500,000	▲ 1,290,000	
役員報酬	1,440,000	1,450,000	△ 10,000	※7 公1担当委託料から切替
給料手当	4,195,000	5,750,000	△ 1,555,000	※8 前年税理士事務所対応、職員採用
賞与引当金繰入額	250,000	450,000	△ 200,000	※8 職員1名減
臨時雇賃金	250,000	0	250,000	※9 新研究会担当採用
退職給付費用	200,000	200,000	0	
福利厚生費	650,000	1,200,000	△ 550,000	※10 定期代の旅費交通費への振替
会議費	100,000	350,000	△ 250,000	※11 WEB会議・書面決議へ変更
旅費交通費	800,000	400,000	400,000	※10 定期代の福利厚生費から切替
通信運搬費	250,000	150,000	100,000	
減価償却費	80,000	150,000	△ 70,000	
消耗品費	350,000	450,000	△ 100,000	※13 研修・会議室機器整理 終了
備品費	450,000	230,000	220,000	※16 会計・給与ソフト
印刷製本費	300,000	300,000	0	
光熱水料費	200,000	200,000	0	
賃借料	2,700,000	2,700,000	0	
清掃費	115,000	90,000	25,000	
保険料	170,000	130,000	40,000	
諸謝金	200,000	550,000	△ 350,000	※7 公1担当報酬へ振替

	予算額	前年度予算額	増減	備考
租税公課	60,000	60,000	0	
諸会費	600,000	600,000	0	
研修参加費	50,000	0	50,000	
委託費	600,000	0	600,000	※17 税理士事務所顧問契約
雑費	200,000	90,000	110,000	
経常費用計	59,130,000	60,200,000	△ 1,070,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,470,000	△ 5,830,000	360,000	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 5,470,000	△ 5,830,000	360,000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 5,470,000	△ 5,830,000	360,000	
一般正味財産期首残高	89,710,553	93,849,160	△ 4,138,607	
一般正味財産期末残高	84,240,553	88,019,160	△ 3,778,607	
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	1,000,000	7,000,000	△ 6,000,000	
受取民間助成金	1,000,000	7,000,000	△ 6,000,000	※18 当期新情報システム助成金
受取寄付金	2,540,000	0	2,540,000	
受取寄付金	2,540,000	0	2,540,000	※19 当期新情報システム寄付金
②一般正味財産への振替額	△ 10,320,000	△ 8,500,000	△ 1,820,000	
一般正味財産への振替額	△ 10,320,000	△ 8,500,000	△ 1,820,000	※20 当期に受け入れた指定寄付の使用分 + 過年度積み立て分の取崩し -(当期分ソフトウェア費用-減価償却費)
当期指定正味財産増減額	△ 6,780,000	△ 1,500,000	△ 5,280,000	
指定正味財産期首残高	324,415,548	269,386,194	55,029,354	
指定正味財産期末残高	317,635,548	267,886,194	49,749,354	
III 正味財産期末残高	401,876,101	355,905,354	45,970,747	

※5 公2事業 新情報システム助成金・当期受取助成金 1,000千円+減価償却費(前期取得分)496千円 = 1,496千円
・減価償却費496千円は、前期分のソフトウェア費用2,476千円・5年償却の当期分である。

※6 {当期受取寄付金2,540千円+前期受取寄付金7,460千円(①+②)} - {当期分ソフトウェア取得1,470千円-減価償却費(当期取得分)294千円} = 8,824千円
・減価償却費294千円は、当期分のソフトウェア費用1,470千円・5年償却の当期分である。
・新情報システムプロジェクト積立資産取崩額(①) = 当期開発費用6,000千円 - (当期受取助成金 1,000千円 + 当期受取寄付金2,540千円) = 2,460千円
・情報整備積立資産取崩し額 5,000千円(②)
・当期に受け入れた助成金では、当期分のソフトウェア費用1,470千円を賅えないため、寄付金を充当することとする。

※14 公3事業 団体要覧2022年度版発行 800冊・2,700千円、 当期計上印刷費 1,150千円(寄贈分300冊+在庫販売40冊)
公3事業 応募ガイド2種・2022年度版発行 800冊・2,100千円、当期計上印刷費 2,050千円(寄贈分300冊+当期販売330冊+在庫販売100冊)

※20 当期に受け入れた指定寄付の使用分 3,540千円(③) + 過年度積み立て分の取崩し 7,460千円(④) - {当期分ソフトウェア取得1,470千円-減価償却費 790千円(⑤)} = 10,320千円
・当期に受け入れた指定寄付の使用分 3,540千円(③) = 当期受取助成金 1,000千円 + 当期受取寄付金2,540千円
・過年度積み立て分の取崩し 7,460千円(④) = 新情報システムプロジェクト積立資産取崩額2,460千円(①) + 情報整備積立資産取崩し額 5,000千円(②)
・減価償却費 790千円(⑤) = 前期取得分 496千円 + 当期取得分 294千円